

事業所名

ゆうわ・あいき

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2025 年

1 月

3 日

法人（事業所）理念	広々とした和の空間で、子どもの個性と社会性を育み、あらゆるジリツ【自立、自律】を受け入れる共生社会の実現を目指す。		
支援方針	自分らしく生き抜くために、人への信頼感をもち、自己肯定感を育む。 ①表現・記憶力 ②思考・推理力 ③ 集中力 ④自己コントロールの力をつけ、一人のできることを増やすための支援を行う。		
営業時間	月～金 土、長期休業	13 10 時 00 00 分から	18 17 時 00 00 分まで
	送迎実施の有無	○あり なし	
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	・生活スキル ・基本的な生活習慣や食生活・健康について、学習や遊びを通して身に付け、年齢に合わせた自己管理ができるようにする。	
	運動・感覚	・合気スキル ・運動に係る基本的な技能の向上にむけ、各自が日頃五感で得た情報やビジョントレーニング・姿勢・体幹・柔軟性などを取り入れた合気道を行う。	
	認知・行動	・学習スキル ・話す・読む・書く・聞く・計算する・推論するなどの基本的な学習を一人ひとりに合わせ、工夫された教材で身に付ける。	
	言語 コミュニケーション	・就労スキル ・語らいの場を増やし、相手の気持ちや行動を理解し、自分の考え・思いを伝えることができるよう、他の人と係わる楽しさを通し、ルールや感情のコントロールを身に付ける。	
	人間関係 社会性	・行事スキル ・よりよい人間関係を築くために、多様な教材や実生活での出来事や行事を通し、自分や相手の気持ち・まわりの状況に気付き、理解し実践する力を付ける。	
家族支援	・施設で気になることがあれば保護者に報告し、聴き取りを行う。 ・発達上の課題についての気づきを促し、家庭と連携して支援に生かす。 ・関係者・関係機関との連携による支援体制を構築していく。	移行支援	・具体的な意向を想定した子どもの発達の評価を行い、保護者の意向確認や状況共有を行う。 ・他関連機関との連携をはかり、支援体制を構築する。
地域支援・地域連携	・地域の公共施設を利用し、地域資源を活用していく。 ・学校、福祉サービス等との連絡や連携会議等を行って情報共有していく。	職員の質の向上	・新入職員研修 ・ケース検討会 ・法定研修(コンプライアンス、マナー・接遇、虐待防止、ハラスメント、感染症予防、人権)
主な行事等	・芋の苗植え、芋ほりなど、季節感・指導内容を考えて、計画的に行う。 ・クリスマス会など長期休業日のイベントと毎週土曜日の合気道・なかねかい・園外活動を利用して行う。		

事業所名

ゆうわ・あいき

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2025 年

1 月

3 日

法人（事業所）理念	広々とした和の空間で、子どもの個性と社会性を育み、あらゆるジリツ【自立、自律】を受け入れる共生社会の実現を目指す。		
支援方針	自分らしく生き抜くために、人への信頼感をもち、自己肯定感を育む。 ①表現・記憶力 ②思考・推定力 ③ 集中力 ④自己コントロールの力をつけ、一人でできることを増やすための支援を行う。		
営業時間	月～金 土、長期休業	9 時 00 分から 9 時 00 分	12 時 00 分まで 11 時 00 分まで
	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・集中力を養うあそび：来所時、送迎時の子どもたちの様子を把握し共有する。 ・衣服の着脱・持ち物の整理を自分でできるように支援する。 ・身の回りを清潔にし、排泄等の生活に必要な基本的技能を身につけられるように支援する。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・体幹を鍛えるあそび：視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用できるような運動あそびを設定する。 ・感覚の特性、過敏・鈍麻へ対応し、感覚あそびを行う。 ・音楽リズムあそびでは、自分の身体をイメージできるよう支援する。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・興味を広げるあそび：お話の世界を楽しみ、季節や文化を感じられるようなあそびを行う。 ・情報を聞いて、行動へつなげるというゲームやあそびを行う。 ・認知や行動の手がかりとなる数量・大小・色などが習得できるあそびを行う。 	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉を楽しむあそび：絵本の読み聞かせや紙芝居であそびを行う。 ・関わりあそび・体験活動を通し、具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等、体験的に言語の習得ができるよう支援する。 ・少人数の関わりの中で、相手の意図を理解したり自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出できるよう支援する。 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・行事を通してあそび：小集団の中で、集団に参加するための手順やルールが理解できるよう支援する。 ・子どもの信頼感を育み、子どもの感情や不安に寄り添い、周囲の人との安定した関係を継続するための支援を行う。 ・大人を介在して、気持ちの情動の調整ができるよう支援する。 	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・施設で気になることがあれば保護者に報告し、聴き取りを行う。 ・子どもの発達上の課題についての気づきを促し、家庭と連携して支援する。 ・関係者・関係機関との連携による支援体制を構築していく。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・就学に向けての情報提供や支援を行う。 ・具体的な移行を想定した子どもの発達の評価を行い、保護者の意向確認や状況共有を行う。
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所、福祉サービス等と連絡を取り、情報共有していく。 ・保育所との連携をはかり、支援体制を構築していく。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・新入職員研修 ・ケース検討会 ・法定研修(コンプライアンス、マナー・接遇、虐待防止、ハラスメント、感染症予防、人権)
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・芋の苗植え、芋ほりなど、季節感・指導内容を考えて、計画的に行う。 ・お正月、節分、ひなまつり、お彼岸、クリスマス会などの年中行事や、就学説明会を行う。 		